

19/3 期スマホ需要減、償却増で 12.7%減収 33.9%営業減益予想も FA 投資活発で増額へ

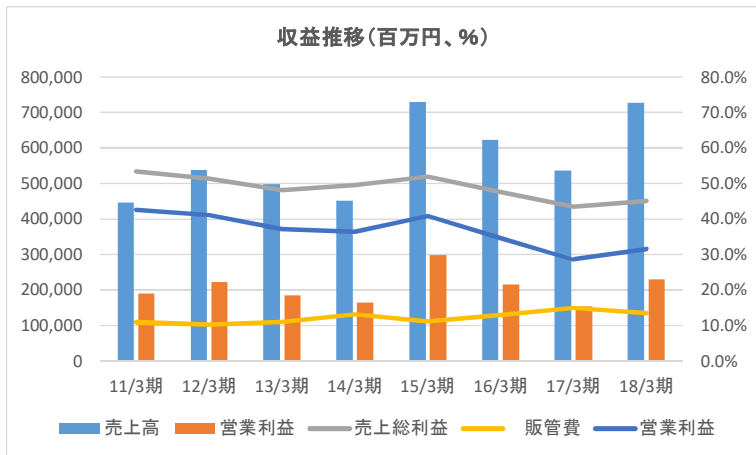
株価 23990 円 (5/1) 時価総額 48954 億円 (5/1) 発行済株 204059 千株 (5/1)
 PER (25.6X) PBR (3.18X) 配当還元率 60%562 円 (DO 予) 配当利回り 2.3%

要約

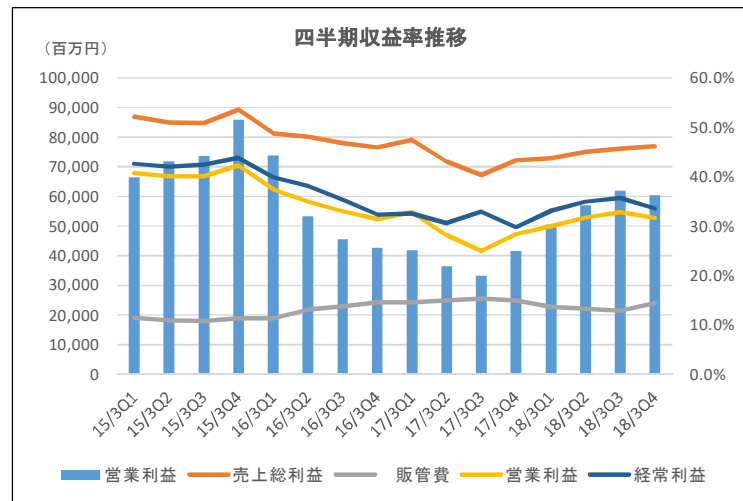
- 18/3 期は 35.3%増収、49.9%営業増益と 3 度の増額修正を上回り着地
- 19/3 期はスマホ大型受注なく、新工場竣工増で 12.7%減収、33.9%営業減益予想も増額へ
- 株価は FA 代表企業として当面 PER30 倍 28000 円目標も受注状況で高値奪還も

18/3 期は 35.3%増収、49.9%営業増益と 3 度の増額修正を上回り着地

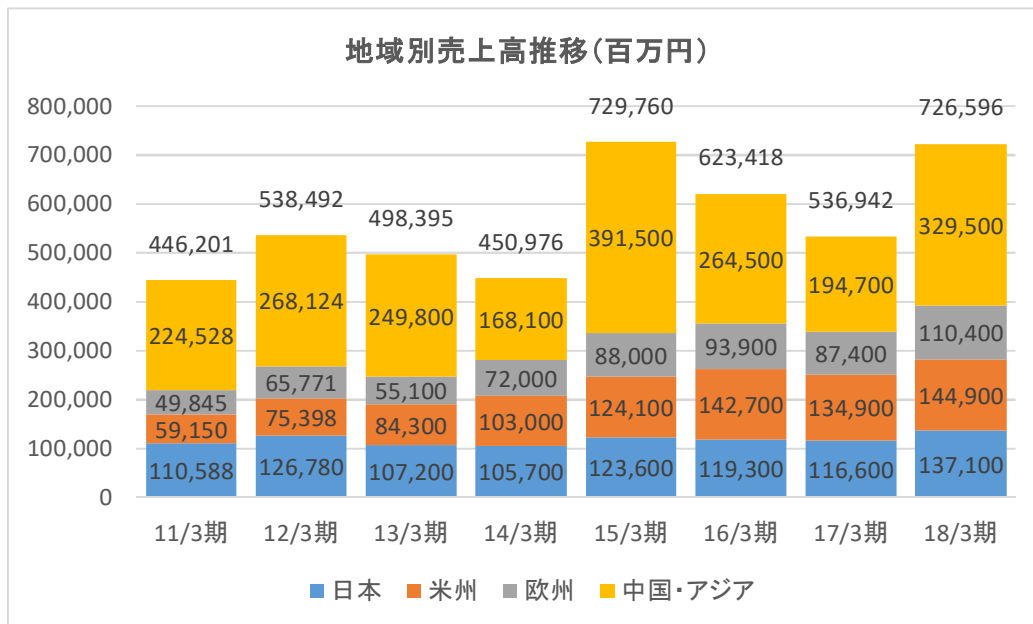
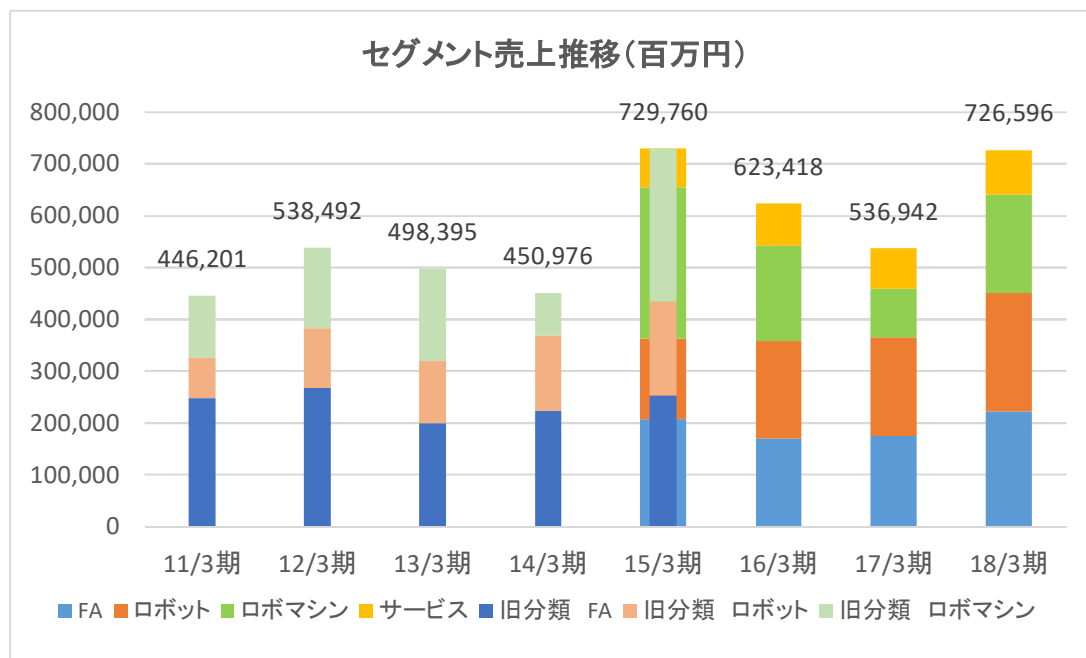
4/26 に 18/3 期決算発表、翌 4/27 にアナリスト説明会が開催された。18/3 期は売上高 7266 億円 (35.3%増)、営業利益 2296 億円 (49.9%増)、経常利益 2495 億円 (47.8%増)、税引利益 1820 億円 (42.5%増) と、3 度目の増額修正予想数字をも売上高で 116 億円、営業利益で 47 億円上回って着地した。



セグメント別売上で FA は国内、中国、欧州などで好調で 27%増の 2223 億円、ロボットは全体好調の中で中国向けが急増し 20%増の 2278 億円、ロボマシンは自動車向けの拡大に加え中国でのスマートフォン関連の一時需要が加わり 2.0 倍の 1902 億円、サービスは体制強化で



11%増の 863 億円となった。地域別では中国が自動車、スマホなどが拡大し 2.0 倍の 2159 億円、その他地域も米国の 7%増以外、2 ケタ増収を達成した。なおエポックとして FA 部門では 2018 年 3 月に CNC 累積出荷 400 万台突破、ロボットも 2017 年 11 月に累計生産 50 万台を達成した。

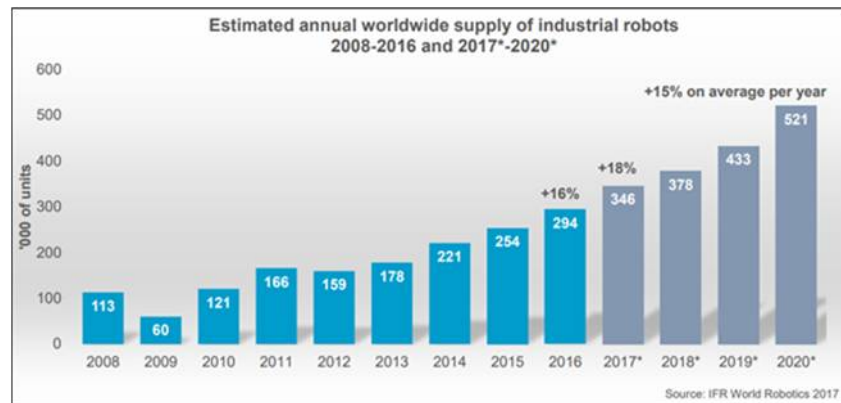
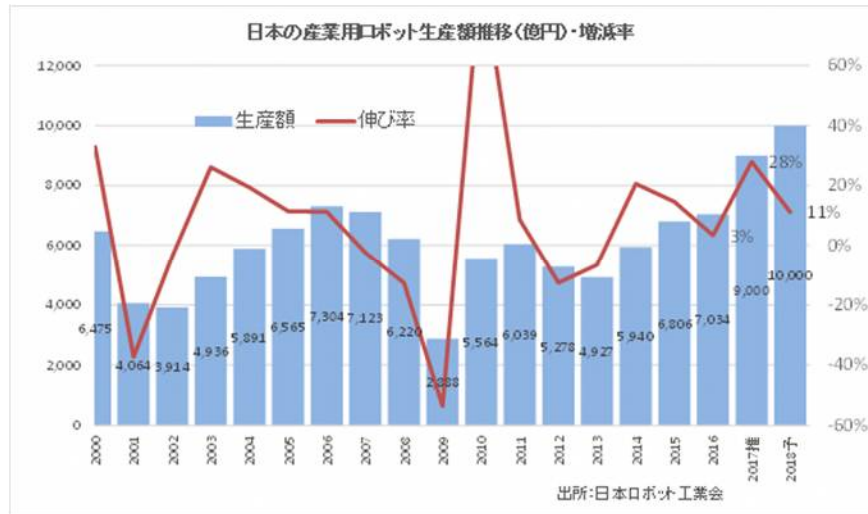


19/3 期はスマホ大型受注なく、新工場竣工増で 12.7%減収、33.9%営業減益予想も増額へ

19/3 期会社計画は売上高 6340 億円 (12.7%減)、営業利益 1517 億円 (33.9%減)、経常利益 1638 億円 (34.4%減)、税引利益 1377 億円 (24.3%減) と大幅減収減益予想。前期のスマートフォン大型受注の反動と、下期集中で新工場竣工ラッシュにより償却負担が急増

すること、円建て輸出ながら 1\$ = 100 円の影響もあるとの判断。特に総利率想定では 18/3Q4 の 46.1% に対して 19/3H1 に 41.2%、下期は償却負担増から 37.3%を見込むことで、大幅減益予想としている。

しかし機械受注統計では工作機械、ロボット、合成樹脂加工機械受注等の伸びが高水準で推移、少なくとも上期段階は受注増が継続する見通



• スカラロボット



• 小型協働ロボット



しで、国内の FA、ロボット、ロボマシンの伸長が続く見通し。また北米は自動車向けで減退見通しも、ワークショップなど向けは堅調で、全体として増収を確保できる見通し。さらに中国はスマートフォン向けの大型投資の減少でロボマシンの大幅減少は避けられないものの、旺盛な省人化ニーズ、高精度の設備機械ニーズの高まりから FA、ロボットの伸長が続く見通し。またロボマシンも一般産業向け、自動車向けなどの伸長は維持できる見通し。全体と

して中国向けは 500 億円程度減少の売上減が見込まれるものの、その他地域の好調持続で大幅な売上上方修正が見込まれる。

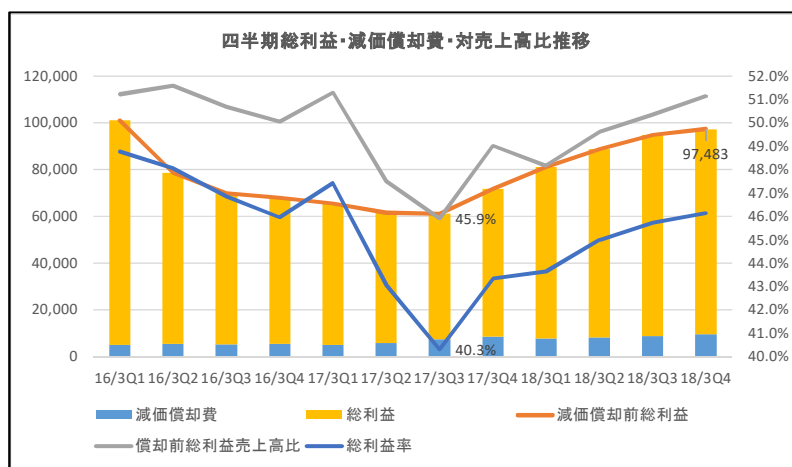
利益面では、壬生ロボット工場拡大、つくば明野北部に建設中のロボット

新工場など下期集中竣工となる大型新工場の償却負担、また為替前提を 1\$ = 100 円とし総利益率を低く見積もっている。しかし過去の総利益率推移をみると、最悪でも 40.3%、償却前総利益率では 45.9%となっており、会社想定はあまりにも抑えた数字となっている。このため、下期に大幅な償却負担増が生じて、会社想定を大きく上回る利益率が見込まれ、売上増額の相乗効果で大幅な利益上方修正が見込まれる。



ロボット工場建設

工場建設場所	茨城県つくば明野北部(田宿地区)工業団地
対象製品	ロボット
工場建設内容	① 建屋 2棟(ロボット工場、機械加工工場) ② 延床面積 合計 約166千㎡ ③ 完成予定 2018/5
生産設備導入計画(第一期)	① 生産能力 ロボット 2000台/月(最終的に4000台/月まで拡充を予定) ② 一部生産開始(予定) 2018/8
投資金額	土地、建屋(工場、厚生施設等)、生産設備(第一期)、約630億円



株価は FA 代表企業として当面 PER30 倍 28000 円目標も受注状況で高値奪還も

株価は 4/26 本決算発表で急落、4/27 に 22390 円の年初来安値更新となり、決算説明会後も戻りが小さい。現在、19/3 期会社予想 EPS710.38 円に対し 33.8 倍水準と割安感はない。しかし今後上方修正見込みで、ロボット、インダストリ 4.0 の主導的企業として、DO 予想 EPS936 円に対し PER30 倍となる 28000 円を当面の目標として、アウトパフォームとする。なお期中にスマートフォン向け大型受注の可能性もあり、新規受注獲得が確認できれば経常増益も視野に入り、改めて年初来高値 33450 円を奪回する可能性も十分ある。

ファナック(6954)										(百万円、円)	
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当	
17/3期	536,942	-13.9%	153,217	-28.9%	168,829	-26.4%	127,697	-20.0%	658.630	395.18	
18/3Q1	168,490	32.1%	50,521	20.6%	55,746	34.1%	40,836	35.0%	210.65	-	
18/3Q2会予(7/28)	160,610	24.0%	50,379	38.0%	47,754	20.3%	34,964	16.8%	180.37	-	
18/3Q2	179,122	38.3%	56,875	55.8%	62,651	57.9%	44,927	50.1%	231.76	186.20	
18/3Q3	188,382	41.4%	61,839	86.0%	67,221	53.2%	50,551	56.0%	260.78	-	
18/3Q4修正会予(1/26)	180,006	22.8%	55,665	33.9%	57,782	32.2%	43,886	24.9%	226.43	-	
18/3Q4	190,602	30.0%	60,369	45.2%	63,907	46.2%	45,643	29.9%	235.47	208.98	
18/3H1期初会予	299,600	16.5%	92,100	17.5%	92,100	13.3%	66,900	11.2%	345.10	-	
18/3H1修正会予(7/28)	329,100	28.0%	100,900	28.7%	103,500	27.4%	75,800	26.0%	391.02	-	
18/3H1	347,612	35.2%	107,396	37.0%	118,397	45.7%	85,763	42.5%	442.41	265.45	
18/3H2期初会予	270,200	-3.4%	63,400	-15.3%	68,400	-21.9%	50,000	-26.0%	257.92	-	
18/3H2修正会予(7/28)	282,300	0.9%	68,900	-7.9%	75,700	-13.6%	55,700	-17.5%	287.33	-	
18/3H2修正会予(10/25)	345,388	23.4%	101,704	35.9%	107,003	22.2%	79,137	17.2%	408.25	-	
18/3H2修正会予(1/26)	368,388	31.6%	117,504	57.1%	125,003	42.7%	94,437	39.9%	487.21	-	
18/3H2	378,984	35.4%	122,208	63.3%	131,128	49.7%	96,194	12.2%	496.25	208.98	
18/3期期初会予	569,800	6.1%	155,500	1.5%	160,500	-4.9%	116,900	-8.5%	603.02	-	
18/3期修正会予(7/28)	611,400	13.9%	169,800	10.8%	179,200	6.1%	131,500	3.0%	678.35	-	
18/3期修正会予(10/25)	693,000	29.1%	209,100	36.5%	225,400	33.5%	164,900	29.1%	850.66	-	
18/3期修正会予(1/26)	716,000	33.3%	224,900	46.8%	243,400	44.2%	180,200	41.1%	929.62	-	
18/3期	726,596	35.3%	229,604	49.9%	249,525	47.8%	181,957	42.5%	938.66	395.18	
19/3H1会予	321,300	-7.6%	84,100	-21.7%	88,000	-25.7%	65,800	-23.3%	339.46	-	
19/3H2会予	312,900	-17.4%	67,600	-44.7%	75,800	-42.2%	71,900	-25.3%	370.92	-	
19/3期会予	634,200	-12.7%	151,700	-33.9%	163,800	-34.4%	137,700	-24.3%	710.38	-	
19/3H1DO予	367,000	5.6%	105,600	-1.7%	109,500	-7.5%	82,000	-4.4%	423.01	253.81	
19/3H2DO予	376,000	-0.8%	97,400	-20.3%	105,500	-19.5%	99,500	3.4%	513.29	307.97	
19/3期DO予	743,000	2.3%	203,000	-11.6%	215,000	-13.8%	181,500	-0.3%	936.30	561.78	
20/3H1DO予	394,000	7.4%	117,000	10.8%	122,000	11.4%	90,000	9.8%	464.28	278.57	
20/3H2DO予	406,000	8.0%	125,000	28.3%	133,000	26.1%	100,000	0.5%	515.87	309.52	
20/3期DO予	800,000	7.7%	242,000	19.2%	255,000	18.6%	190,000	4.7%	980.15	588.09	

年度	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期会 予	19/3期 DO予	20/3期 DO予
売上高	729,760	623,418	536,942	726,596	634,200	743,000	800,000
売上原価	350,746	326,912	303,415	398,398	385,000	442,000	458,500
売上総利益	379,014	296,506	233,527	328,198	249,200	301,000	341,500
販管費	81,175	80,939	80,310	98,594	97,500	98,000	99,500
営業利益	297,839	215,567	153,217	229,604	151,700	203,000	242,000
経常利益	311,951	229,361	168,829	249,525	163,800	215,000	255,000
親株主帰属純利益	207,599	159,700	127,697	181,957	137,700	181,500	190,000
地域別売上	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期会 予	19/3期 DO予	20/3期 DO予
日本	123,600	119,300	116,600	137,100		160,600	165,800
米州	124,100	142,700	134,900	144,900		159,200	168,900
欧州	88,000	93,900	87,400	110,400		129,000	133,700
中国・アジア	391,500	264,500	194,700	329,500		290,200	327,200
中国			107,300	215,900		166,400	198,800
アジア			87,400	113,600		123,800	128,400
その他	2,600	2,800	3,300	4,700		4,000	4,400
売上合計	729,760	623,418	536,942	726,596	634,200	743,000	800,000
セグメント売上情報年度	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期会 予	19/3期 DO予	20/3期 DO予
FA	206,567	170,211	175,016	222,254		240,900	248,800
ロボット	156,521	188,295	190,043	227,827		257,200	290,200
ロボマシン	291,419	183,011	93,939	190,182		154,000	168,000
サービス	75,139	81,901	77,944	86,333		90,900	93,000
(サムソン電子)	93,958						
合計	729,760	623,418	536,942	726,596	634,200	743,000	800,000
減価償却費・研究開発費	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期会 予	19/3期 DO予	20/3期 DO予
減価償却費	21,685	21,106	26,530	34,190		50,000	48,000
研究開発費	28,105	34,567	42,331	50,000		52,000	55,000
年度	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期会 予	19/3期 DO予	20/3期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	48.1%	52.4%	56.5%	54.8%	60.7%	59.5%	57.3%
売上総利益	51.9%	47.6%	43.5%	45.2%	39.3%	40.5%	42.7%
販管費	11.1%	13.0%	15.0%	13.6%	15.4%	13.2%	12.4%
営業利益	40.8%	34.6%	28.5%	31.6%	23.9%	27.3%	30.3%
経常利益	42.7%	36.8%	31.4%	34.3%	25.8%	28.9%	31.9%
親株主帰属純利益	28.4%	25.6%	23.8%	25.0%	21.7%	24.4%	23.8%
前年度比	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期会 予	19/3期 DO予	20/3期 DO予
売上高	61.8%	-14.6%	-13.9%	35.3%	-12.7%	2.3%	7.7%
売上原価	54.4%	-6.8%	-7.2%	31.3%	-3.4%	10.9%	3.7%
売上総利益	69.4%	-21.8%	-21.2%	40.5%	-24.1%	-8.3%	13.5%
販管費	36.1%	-0.3%	-0.8%	22.8%	-1.1%	-0.6%	1.5%
営業利益	81.5%	-27.6%	-28.9%	49.9%	-33.9%	-11.6%	19.2%
経常利益	78.9%	-26.5%	-26.4%	47.8%	-34.4%	-13.8%	18.6%
親株主帰属純利益	87.1%	-23.1%	-20.0%	42.5%	-24.3%	-0.3%	4.7%

1959 (昭和34) 年
日本最初の連続切削NCを完成
昭和35年より生産。以来、平成22年1月20日サーボモータ生産1000万台達成。

1972 (昭和47) 年
富士通株式会社よりNC部門が分離し設立、資本金20億円

1974 (昭和49) 年
ロボットを開発、自社に導入

1975 (昭和50) 年
ワイヤカット放電加工機完成

1976 (昭和51) 年
東京証券取引所市場第二部に上場

1977 (昭和52) 年
ロボット量産出荷開始 (ROBOT-MODEL 1)

1980 (昭和55) 年
本社地区 (山梨県忍野村) にロボットおよびNC工作機械製造工場を建設移転

1982 (昭和57) 年
米国ゼネラルモーターズ社との共同出資により GMFanuc ROBOTICS CORPORATION を設立

1983 (昭和58) 年
東京証券取引所第一部に上場

1984 (昭和59) 年
東京都日野市より山梨県南都留郡忍野村へ本店を移転
純電子式プラスチック射出成形機 FANUC AUTOSHOT を完成

1986 (昭和61) 年
本社地区に中央テクニカルセンタ、ロボット組立専用工場、生産技術研究所を建設
ゼネラルエレクトリック社とファクトリーオートメーション分野における合弁会社設立の基本合意書に調印

1987 (昭和62) 年
炭酸ガスレーザを開発

1991 (平成3) 年
システム工場完成
鹿児島県に隼人工場を建設

2001 (平成13) 年
新しい産機工場および調理センタ完成

2003 (平成15) 年
知能ロボットの量産出荷開始

2005 (平成17) 年
本社地区において新サーボモータ工場を新たに建設

2006 (平成18) 年
新しい成形工場完成

2007 (平成19) 年
筑波工場のカット工場 (曙杉の工場) 及び名古屋テクニカルセンタ竣工

2008 (平成20) 年
筑波地区に機械加工工場を新たに建設
本社地区に新CNC工場を新たに建設

2009 (平成21) 年
ゼネラルエレクトリック社との合弁を解消。FANUC FA AMERICA CORPORATION と FANUC FA Europe S.A. が発足。

2011 (平成23) 年
本社地区に新ロボット工場を新たに建設

2012 (平成24) 年
筑波地区に新ロボドリル工場を新たに建設

2014 (平成26) 年
栃木県壬生町に工場用地を取得

2015 (平成27) 年
協働ロボットCR-35iA 完成
ファイバレーザ開発
ロボドリル累計20万台出荷
ロボット累計40万台出荷

2016 (平成28) 年
ロボショット累計5万台出荷
CNC累計360万台出荷
壬生工場完成

2017 (平成29) 年
ロボット累計50万台出荷
ワイヤカット放電加工機「ロボカット」の累計生産台数が3万台。

2018 (平成30) 年
つくば明野北部ロボット新工場完成

